

令和2年度

## 第1回 学校評議員会の実施報告書

ホームページへの掲載	
済・未	9月15日掲載予定

---

### 岐阜県立羽島特別支援学校

校長 奥村 哲也

所在地 羽島市正木町大浦230-1 TEL 058-392-8181

---

1 会議の名称 岐阜県立羽島特別支援学校評議員会

2 会議の構成

委員 (五十音順・敬称略)

味岡 巖	大浦区長
小川 圭三	元羽島ボランティア協会 事務局長
平井 崇広	万灯会 まさき園施設長
豊島 裕香	羽島市主任児童委員
岡崎 晃子	P T A代表

学校職員

奥村 哲也	校長
鷺野 恵一	教頭
広井 隆司	教頭
後藤 聡徳	事務長
不破 明美	小学部主事
由井真紀子	中学部主事
水野 裕子	高等部主事
井川 匡	教務主任

3 会議の目的 学校運営等について地域住民や保護者等から幅広く意見を求め、充実した教育活動を展開するとともに、地域に開かれた学校づくりを推進することを目的とする。

4 会議の開催 令和2年8月25日(火) 書面開催  
出席者：委員5人 学校職員8人

5 会議の概要 (1) 自己紹介  
(2) 学校概要について：学校要覧、学校案内  
(3) 学校の現状と教育活動について

- ・ 5年目を迎える学校の現状と課題
- ・ 新型コロナウイルス感染症への対応
- (4) 作業製品の価格設定等について
- (5) 意見

○意見

(3) 学校の現状と教育活動について

[委員1]

- ・ コロナの影響もあり、学校と地域が疎遠になるのではないかと。学校の便り等を住民に回覧していただきたい。
- ・ 学校の道路に面した位置に掲示板を設置してはどうか。近隣の住民は高齢者も多く、散歩等で立ち寄って児童生徒の様子を見ることもある。

[委員2]

- ・ コロナ感染症拡大の中、学校運営に大変な気遣いをされている。感染が収束した際には、小学校・中学校・高等学校との交流が盛んになるとよい。

[委員3]

- ・ 隣接する同じ地域にある施設として、区長さんをはじめ地域の方の思いを聞きながら、学校と協力して活動を進めていきたい。

[委員4]

- ・ 感染リスクがあるため学校に赴くこともはばかれる状況だが、在宅にて何かサポートできることが今後出てきたら、役に立てるかもしれない。いろいろな形で地域が学校を助ける仕組みがあってもよい。

[委員5]

- ・ コロナウイルス感染症対策により例年とは異なる状況の中、子ども達が安心して学べる環境を提供をしていただき、感謝している。
- ・ 第2波が来ている中、再び休校になってしまうのか、その場合の生活はどうなるのか、今後の進路選択はどうなるのか、不安になる。休校中のオンライン授業は、是非お願いしたい。
- ・ 例年ならば、現場実習の報告会で進路先の幅が広がったり、様子がわかったりするが、今年度全て中止となってしまう可能性があり、とても不安である。
- ・ 体育大会、参観日、ロータスカフェ等、保護者が参加や見学できるものが全て中止になると、子どもの学校での様子を知ることができず、親にとっては寂しい限りである。
- ・ オンライン授業をしてほしい、写真でもいいので学校での様子を知りたい、進路先の情報が知りたい、以上3つをお願いしたい。

(4) 高等部作業学習の製品価格について

<委員1>

- ・ 承諾する。
- ・ ホームページでの紹介はあるが、地元住民に掲示板（学校・町内）でPRして頂きたい。

<委員2>

- ・ 承諾する。

- ・もう少し木工製品の種類を増やしてはどうか。例えば、鍵を置く受け皿、リモコンを入れるボックス等はどうか。

<委員3>

- ・承諾する。

<委員4>

- ・承諾する。
- ・昨年の学校祭の折、蓮の花を貼ったポチ袋を購入した。一つ一つ丁寧に作られた品物に心が温かくなった。布や木工製品等にも蓮の花のワンポイントがあると、羽島特別支援学校らしさを感じられると思う。

<委員5>

- ・承諾する。

○ 改善点など

情報を、こまめに発信・配信していく。

◇掲示板を正面玄関付近の道路に面した所に設置する

- ・コロナ禍で学校と地域が疎遠にならないための地域の方からの要望であるため、予算は、感染症対策・学習保障等事業費より計上【事務部】
- ・行事や学習活動の様子、行事の案内、地域へのお願いやお知らせ等を掲示【教頭】

◇ホームページ上に活動写真を掲載し、こまめに更新する【教務】

- ・ICTを活用している活動風景
- ・コロナ対策（フェイスシールドを着用しての摂食、消毒風景）の様子

◇進路情報を提供する【進路】

- ・現場実習の事例
- ・ハローワークや就労支援事業所からの情報

◇各行事の実施の可否について判断する【各部】

- ・児童生徒・保護者の意向に寄り添いつつ、感染状況等の社会情勢、県の指針をもとに個別・具体的に各行事の縮小・延期・中止を判断
- ・どのタイミングで、どのように決定するのかを、事前に保護者に案内する